

希望学報告会 & 日本学術会議公開シンポジウム開催！

昨年3月、東京大学希望学プロジェクトと県の共同により16,000人以上の県民の方を対象に行った「福井の希望と社会生活調査2014」の調査結果について、研究者による報告を行います。

地域に誇りを持って活動する人の輪を広げたり、女性が仕事等で活躍するための道筋などの議論を通し、福井の希望について考えます。(午前の部)

午後からは、関連プロジェクトとして、日本学術会議で社会政策等を専門とする研究者が加わり、「地域の魅力を考えるー仕事と暮らしを支える社会政策とはー」をテーマに、地域産業のあり方や、地域の生活基盤の整備など「地方創生」実現に向けた方策について、多面的に議論します。

日時 平成27年5月16日(土)

会場 福井市地域交流プラザ研修室601(アオッサ6階)
(福井市手寄1丁目4-1)

要申込
入場無料

定員・申込 午前・午後 各100名(先着順) ※ 申込は裏面をご覧ください

[午前の部] 10:30~12:00
(開場:10:00)

[午後の部] 13:30~17:00
(開場:13:00)

希望学報告会 「福井の希望を考えるー福井の希望と 社会生活調査2014からー」

日本学術会議公開シンポジウム 「地域の魅力を考えるー仕事と暮らしを 支える社会政策とはー」

[報告者]

※報告の順番、
タイトルは変更の
可能性があります

- ① 福井の女性の希望
阿部 彩 (首都大学東京)
- ② 福井の女性の仕事①
西村幸満 (国立社会保障・人口問題研究所)
- ③ 福井の女性の仕事②
金井 郁 (埼玉大学)
- ④ 福井の世帯の家事分担
不破 麻紀子 (首都大学東京)
- ⑤ 子育ての地域資源
近本 聡子 (生協総合研究所)
- ⑥ 県民の移動経験と希望
羽田野 慶子 (福井大学)
- ⑦ 県民の地域活動
角 能 (埼玉大学)

[総合司会] 大沢 真理(東京大学)

[報告者]

※報告の順番、
タイトルは変更の
可能性があります

- ① 福井県における地域産業の育成
前田 洋一(福井県)
- ② 人口減少時代のUIターンと地域への
定着促進政策
井上 信宏(信州大学)
- ③ 地方若年者が抱える就業・家族形成の困難さ
への対応
石井 まこと(大分大学)
- ④ 地方都市および過疎地域における地域包括
ケアの仕組みづくり
斎藤 弥生(大阪大学)

[総合司会] 大沢 真理(東京大学)

[座長] 阿部 誠(大分大学)

[コメンテーター] 吉村 臨兵(福井県立大学)
羽田野 慶子(福井大学)

■主催 東京大学社会科学研究所
福井県
■後援 福井県民生活協同組合

■主催 日本学術会議
社会政策関連学会協議会
■共催 福井県
■後援 福井県民生活協同組合

登壇者プロフィール

[午前の部] 希望学報告会

大沢 真理(おおさわ まり) 東京大学社会科学研究所 所長・教授、日本学術会議連携会員
専門は、社会政策の比較ジェンダー分析。「福井の希望と社会生活調査 2014」研究代表。

阿部 彩(あべ あや) 首都大学東京都市教養学部 教授
専門は、社会保障。性別や年代別にみた県民の希望の特徴や変化について明らかにする。

西村 幸満(にしむら ゆきみつ) 国立社会保障・人口問題研究所社会保障応用分析研究部第二室長
専門は、社会工学。共働き率が高い女性の就業構造に着目し、既婚者の男女の仕事の違いを分析。

金井 郁(かない かおる) 埼玉大学経済学部 准教授
専門は、労働経済。県民の昇進に対する希望や見通しから、女性管理職の割合が低い要因を探る。

不破 麻紀子(ふわ まきこ) 首都大学東京都市教養学部 准教授
専門は、ジェンダーの比較社会学。配偶者間の家事分担の実態や、夫の家事分担率に影響を与える要素を分析。

近本 聡子(ちかもと さとこ) 公益財団法人 生協総合研究所 研究員
専門は、社会学。子育て支援施設の利用実態や、男性の育児参加の高い世帯に見られる傾向を探る。

羽田野 慶子(はたの けいこ) 福井大学教育地域科学部 准教授
専門は、生涯学習論・ジェンダー論。県外居住経験と、希望の持ち方や性別役割意識との関係を考える。

角 能(かど よく) 埼玉大学 非常勤講師
専門は、社会政策。県民の地域活動の実態を年代別に分析し、女性の希望活動の輪を広げるヒントを示す。

[午後の部] 日本学術会議公開シンポジウム

前田 洋一(まえだ よういち) 福井県総合政策部企画幹
地方創生の視点から産業人材の育成など県の施策を説明。

井上 信宏(いのうえ のぶひろ) 信州大学経済学部 教授
長野県・島根県でのアンケート調査の結果を基に、地域の魅力を高めるUIターン施策を提言。

石井 まこと(いしい まこと) 大分大学経済学部 教授
地方に残る若者の受け皿と生活展望の視点から、自治体の就業支援や家族形成支援のあり方を示唆。

斎藤 弥生(さいとう やよい) 大阪大学人間科学研究科 教授
地方都市や過疎地域の地域包括ケアのあり方について、北欧モデルの導入可能性を探りつつ議論。

申込方法

- ・以下事項を記入のうえ、福井県庁政策推進課までメールまたは **FAX** でお申込ください。
- ・定員に達した場合、受付順とさせていただきます。

Fax : 0776-20-0623 メール : seisaku@pref.fukui.lg.jp

団体名 (個人の方は記入不要)	午前・希望学報告会		午後・日本学術会議シンポジウム
参加者氏名 (午前・午後に分けて 記入してください)	参加者1		
	参加者2		
	参加者3		
メールアドレス又は 電話番号	※代表者のみで可 (申込みされた時点で定員に達していた場合のみ、事前にご連絡します)		